

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年12月21日（月）

2 確認箇所

1 / 2号機共用排気筒近傍

3 確認項目

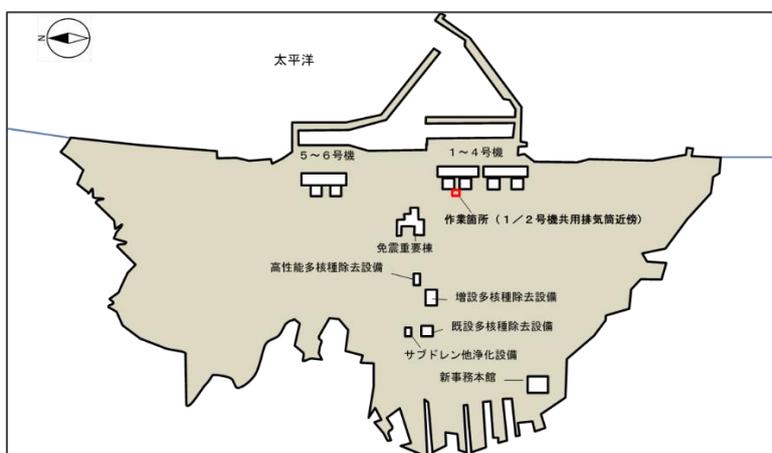
1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピット雨水流入対策の状況

4 確認結果の概要

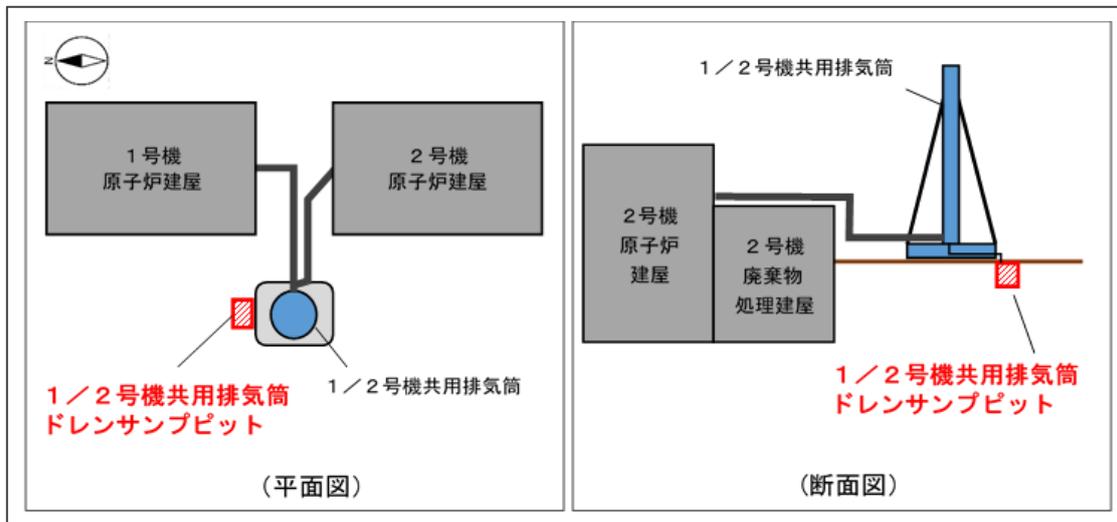
1 / 2号機共用排気筒解体工事は排気筒（全体約120m）上部の約60mの解体が本年4月23日に完了し、5月1日に排気筒上部に蓋が設置された。蓋の設置により排気筒上部の開口の約99%が閉塞されたが、蓋設置後も降雨による1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプピット※1（以下、「ピット」という。）の水位変動が確認されたことから、排気筒上部以外からのピットへの流入経路を探るための調査が行われた。調査の結果、ピットの雨養生カバー南側面の開口からピット上部に雨水が入っていることが確認され、対策工事が実施されていることから状況を確認した。（図1、図2）（前回確認：[令和2年12月18日](#)）

- ・現場確認時、ピットから雨養生カバーが取り外されており、1 / 2号機共用排気筒西側道路で改造された雨養生カバーの漏えい確認等が行われていた。（写真1）
- ・東京電力によると、後日、改造された雨養生カバーの取り付け作業を実施するとのことであった。

※1 排気筒ドレンサンプピット 排気筒内に入り込んだ雨水や排気筒内で発生した結露水を貯めるための集水枞であり、大きさは約1m×約1m×深さ約1mとなっている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 1 / 2号機共用排気筒ドレンサンプルピット概略図



(写真1-1)
取り外され改造された雨養生カバー
(赤破線部が新たに取り付けられた箇所)



(写真1-2)
ピット周辺の状況 (西側から撮影)
(前回 (12月18日) 撮影)



(写真1-3)
ピット周辺の状況 (西側から撮影)
(今回 (12月21日) 撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。